

研究室のルール（2018年版）

（1）安全第一

安全はすべてに優先する。

- ガラス細工、強酸、強アルカリなどの作業時はかならず保護メガネ着用。
- 試薬は安全を確認してから使用（MSDSを確認）すること。
- 実験室は飲食、音楽禁止
- X線講習会、健康診断、液体窒素講習会に参加すること。
- 傷害保険に加入すること（入学時に入っていると思うが、留年生は期限切れの可能性があるので注意！）
- コンセントはさされれば良い、ではない。漏電、感電、火災。
- ドラフトにいれれば安全、ではない。
- やりっぱなし、おきっぱなしがないことを確認して帰宅。
- 試薬はパソコンで管理、部屋の施錠。
- その他、器具、装置は十分に理解してから使用すること

（2）約束ごと。本当はたった一つ「他人に迷惑をかけない」

- セミナーに遅れない（発表者はすぐに開始できるようにスタンバイ）
- 実験机にものを置きっぱなしにしない（長時間占有する場合はメモを残せ）

（3）実験

- 実験ノートはボールペンで書く。日付入れる。大事なグラフ、データなどは貼り付ける。「ラボノートの書き方」（羊土社）を立ち読みせよ。
- 「やることリスト」を作成し、目の前に貼りつけよ。
- 試料にはシリアル番号つける。（ノートとサンプル瓶両方）
- 整理整頓に気を配り、次の人が実験しやすいように配慮する

実験手順

- （1）十分に計画たてる（文献調査、大事なデータをノートに記録、グラフ貼付）
- （2）実験する。ノートに実験条件、ラン番号、試料番号記入。
- （3）使用した器具、装置の片付け。「来たときよりも美しく！」
- （4）実験ノートのまとめ、グラフのプリント、考察して終了。

（4）セミナー

研究報告会（全員）、雑誌会（全員）、タイトルサービス（全員）、輪読（卒研生）、カーボン勉強会（希望者）、電池勉強会（希望者）。

タイトルサービス（指定した論文誌の最新号で研究室に関連するものをすべて取り上げ、簡単な紹介をする。）

（5）学会

フラーレン・ナノチューブシンポジウム（夏（9/11-13）と冬）、中化連（11月、名大）、電気化学会（3/27-29、京大）、Carbon2018（7/1-6、マドリッド）、ISE（9/2-7、ボローニャ）、ヤングエレクトロケミスト（8月末、信州）、炭素若手（蒲郡）、炭素材料学会（12/5-7、名工大）。

（6）留学

ドイツ・エアランゲン大学・ハイス先生のところへ M1・近藤、長谷川、横井がそれぞれ3か月ほど。

（6）卒論

「理科系の作文技術」（木下）は是非買って読んでおいてください。